

「ソーシャルワークの本質 - Essence of Social Work -」

開催要項

1. 開催の趣旨

今日ほどソーシャルワークが求められる時代があったであろうか。世界各地では戦争や紛争が絶えず、また、これにより膨大な数の難民が発生し、人々は苦しみや悲しみのただ中に置かれている。また、これらに対応しきれず、いわば自国第一主義が各地で台頭し、人々は分断され、特定の人々が排斥され、人権が侵害されている。不寛容、搾取、抑圧は解消されることなくむしろ進展し、いわゆるコロナ感染症の拡大がこれらに拍車をかけた。世界は「結束」して対応することを志向するよりは、「競争」的対応に終始し、そして、そこではいつも不利な立場にある人々がより不利益を被る。日本国内においても状況は同様である。人権の擁護もさることながら、命すら守れない状況が深化している。様々な多様性は尊重されず、偏見に基づく差別が横行している。あるいは、日々の生活の中でのささやかで微妙な権利の侵害に不感症となり無関心となっている。そしてやはり、不利な立場にある人々が最も不利益を被っている。

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義と倫理綱領に忠誠を誓った我々は、ソーシャルワークの本質を自らの内に醸成しなければならない。そして、社会変革、社会開発、社会的結束の促進と人々のエンパワメントと解放という任務を実践しなければならない。それは、様々な社会不正義の背景や要因に批判的意識を持ち、何を成すべきかを明確に保持しなければならないことである。そして、今、それを怠れば、ソーシャルワークの本質は、次世代に引き継がれないであろう。そして、それは、不利な立場にある人々が最も不利益を被っているということの再生産につながるであろう。日本国内の状況からソーシャルワークの本質を追求することが開催の趣旨である。

2. 主催： 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

3. 企画・運営： 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 2022年度年次大会 in 東京実行委員会

4. 後援(予定)： 日本ソーシャルワーカー連盟、日本ソーシャルワーク学会、東京ソーシャルワーカー協会、一般社団法人産業ソーシャルワーカー協会、特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会、一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、日本保育ソーシャルワーク学会(順不同)

5. 大会テーマ： 「ソーシャルワークの本質 - Essence of Social Work - 」

6. 開催日時： 2022年5月28日(土) 13時~16時

7. 開催方式： オンライン方式(zoom) ※COVID-19感染拡大防止の為、リアルタイム配信による開催。

8. 参加定員： 100名(定員になり次第締め切ります)

9. 参加費： 日本SW協会会員1,000円/一般参加2,000円/学生参加1,000円

10. 参加申込： 右記QRコードよりお申込みください。

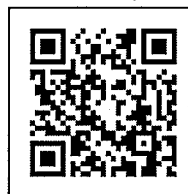
○参加申込フォーム内において必要事項をご入力してお申込みください。

○分科会においては、ご希望の分科会を選択してください。

○お申し込み後、当協会より参加費のお振込みや当日のオンライン参加の方法など、メール連絡をいたします。

○ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

QRコード



【お問合せ先】 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会事務局

TEL: 03-5913-8871/FAX: 03-5913-8872/E-mail: jasw@jasw.jp

※窓口応対時間：月曜日・水曜日・金曜日 午前11時~午後5時

【JASW2022年度通常総会】(JASW会員のみ)

期日：2022年5月28日(土)

時間：午前10時30分~午前11時30分

方式：オンライン方式(zoom)

備考：JASW会員へは事前に議案書を送付いたします。

【JASW2022 年度年次大会 in 東京】(予定)

13:00~	開会	総合司会 小山菜生子 (JASW 研修委員)
	開会挨拶	JASW2022 年度年次大会 in 東京実行委員会 実行委員長 宮崎牧子 (JASW 副会長)
	JASW 会長挨拶	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 会長 保良昌徳 (JASW 倫理委員長)
13:10~	基礎講演 (録画)	「ソーシャルワークの本質 —平和の構築と国際連帯の形成における専門職の役割— セバスティアン・コルドバ氏 国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) アジア太平洋地域国連代表 ロイヤルメルボルン工科大学 (RMIT) 講師 The Essence of Social Work- The Role of the Profession in Building Peace and Forming International Solidarity Dr. Sebastian Cordoba IFSW Asia Pacific UN Representative Lecturer, RMIT University
13:45~	分科会	
		【第1分科会】 「ソーシャルワークのパラダイムシフト —内なる国際化と多文化共生— 日本においては、急速に進む人口減少社会において、すでに多くの外国につながる人たちが生活している。この「内なる国際化」にも対応したソーシャルワーカーを育成することは喫緊の課題である。これまで技能実習生として数多くの外国人が来日している。また、集住地域での無理解や無関心が多く散見される。入国管理法においても、今後日本は少子高齢化により、基本的な労働人材として外国人に期待することとなった。そこには差別・格差・劣悪な労働条件・無関心などが存在しているにもかかわらず、ソーシャルワーカーの視点からは十分に顧みられていないのではないかと。故にソーシャルワークには何が求められているのか、ソーシャルワーカーに何ができるのかを問い直してみたい。 (Speakers) 桂良太郎 (JASW 会員) 陳麗婷 (JASW 会員) ヴィラーグ ヴィクトル (JASW 理事・国際委員) (Commentator) 高島恭子 (JASW 理事・国際委員) (Coordinator) 星野晴彦 (JASW 常任理事・広報委員長)

		<p>【第2分科会】 「Reality of Social Work」</p> <p>日本においては、多くのソーシャルワーカーが専門実践を行っている。寄り添う対象、所属する組織、手段とする制度などは違えど、共通の専門価値に基づき、共通の専門機能を発揮している。これらを具体的な実践から具体的に学んでいく。また、対象や事象は異なれど、直面する構造的障壁やソーシャルワーカーの苦悩もまた共通項がある。例えば、制度の執行に忙殺されたり、他の職種との恣意的な応対に苛まれたり、組織や社会の伝統的価値観に直面したりする。これらの背景を批判的に検討する。この議論を通じて、「ソーシャルワークの本質」を追求し、「何ができるのか」ではなく、ソーシャルワーカーは「何を成すべきか」を参加者と共に確認していく。</p> <p>(Speakers) 小川多鶴 (JASW 理事) 久保茂樹 (JASW 会員) 飯島抄美 (JASW 会員) 上村孝幸 (JASW 会員)</p> <p>(Coordinator) 高石豪 (JASW 事務局長・研修委員長)</p>
		<p>日本ソーシャルワーカー連盟 (JFSW加盟4団体) シンポジウム 「若手ソーシャルワーカーをどう育てるか」</p> <p>日本社会は、その有り様の変化のスピードをより一層速め、かつそれに従い人々の生活課題も多様化・複雑化している。人々の生活課題に対応するのはソーシャルワーカーの役目であるが、多様かつ複雑な福祉的課題に対応できず、一人ストレスを抱え離職に至ってしまう場合が往々にして見受けられる。福祉の仕事の大変さに直面し、その先にある醍醐味を知らないまま離職するのである。このような状況下、現場にいる若手ソーシャルワーカーがソーシャルワークの本質を理解できるようにどう育てるのかは、福祉の未来に関わる業界全体の課題である。よって、各団体からこのテーマについてご意見を頂戴し、今後の示唆としたい。</p> <p>(Speakers) 日本医療ソーシャルワーカー協会 副会長 小原真知子氏 日本精神保健福祉士協会 副会長 洗成子氏 日本社会福祉士会 副会長 安藤千晶氏 日本ソーシャルワーカー協会 会長 保良昌徳</p> <p>(Coordinator) 松永千恵子 (JASW 副会長)</p>
15:45~	次年度開催案内	JASW2023 年度年次大会実行委員会 (仮)
	閉会挨拶	JASW2022 年度年次大会 in 東京実行委員会 副実行委員長 星野清彦 (JASW 常任理事・広報委員長)

○大会の参加は、オンライン参加のみに限られます (配信会場での直接参加はできません)。

○大会参加者は、大会終了後、YouTubeにおいて、全ての分科会の録画が視聴できます。

○学生参加者には、本大会テーマ等と関連した、当協会会報を進呈いたします。

○オンライン参加にあたって、ご不明な点やご要望などがありましたらお気軽にお問合せください。